



出張報告書

令和 7 年 10 月 20 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 無所属
代表者氏名 シセ田 リヒ
出張者氏名 シセ田 リヒ

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和 7 年 10 月 10 日から令和 年 月 日まで

2 結果の概要

用務先	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 ユースセンター はなれ ユース世代の居場所について 2 神戸常盤女子高等学校 プレコンセプションケアについて 3 4 5	
添付書類 ☐ 出張報告書 ☐ ☐ ☐		備 考

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

- ☒ 精算額は、令和 7 年 9 月 18 日届け出た額 (900 円) と同一額である。
- ☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

10月	10日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

視察報告書

尼崎市議会議員 池田 りな

池田 りな

日時:2025年10月10日(金)

テーマ:若者の居場所ユースセンターについて

視察先:NPO法人Dive in! ユースセンター はなれ

私は「家でも学校でもない、子どもたちの第3の居場所をつくりたい」という思いがあります。今回は、神戸市長田区にあるユースセンターを視察しました。ここでは、ユースセンターの概要、尼崎市の現状、そして視察で特に印象に残った点について述べます。

まず、ユースセンターについてです。ユースセンターとは、思春期から青年期の若者が安心して過ごし、相談や交流を通じて成長できる場所です。子どもたちが自分らしくいられる「居場所」を持つことは、孤立や不登校の防止、さらには地域とのつながりづくりにもつながります。

次に、尼崎市における「第3の居場所」についてです。尼崎市では、かつて18歳未満の子どもたちが利用していた児童館がすべて廃館となりました。現在、市内では乳幼児と保護者を対象とした「子育てひろば」や「子育てサークル」、小学生を対象とした全小学校設置の「こどもクラブ」など、一定の支援体制は整っています。しかし、中学生以降の若者を対象とした施策や居場所づくりは、尼崎市に限らず全国的にも不足しているのが現状です。

明確な年齢制限はありませんが、中学生以上が利用できるユースセンターは市内に2か所あります。公設の尼崎市立ユース交流センターと民設のHygge(ヒュッゲ)です。

まず、尼崎市立ユース交流センターについてです。このセンターは、若者が自由に集える場として、文化活動や学びの機会を提供しています。同センターでは、「ユースカウンスル(若者会議)」が開催されています。若者自身が地域課題を話し合い、行政へ提案します。

実際にユースカウンスルから提案された「スケートボードパーク整備」は行政に採用され、若者の声が形になりました。2025年5月尼崎市記念公園にスケートパーク場が整備されました。

次に、認定NPO法人Learning for Allが運営するHygge(ヒュッゲ)です。このセンターは、子ども・若者が自由に立ち寄れる居場所として、日常的な支援に加え、困難を抱える若者への早期支援(予防)と伴走支援(介入)の機能を併せ持っています。

続いて、神戸市長田区のユースセンター「はなれ」を視察して感じた特筆点について述べます。代表の今井直人さんは、かつて尼崎市立ユース交流センターの運営にも関わっておられた方です。今井さんは、「全国的に見ても、尼崎ユースセンターのように福祉の側面と若者の自己実現の側面を両立している施設は珍しい」と話されていました。

ユースセンターは、福祉の視点からは「支援が必要な若者を守る場

所」であり、権利の視点からは「若者が自ら意見を持ち、選択できる権利を保障する場所」である、という言葉が印象的でした。また、小学生の学童保育が終わった時間帯に、中高生が利用できるよう開放している施設もあることを教えていただきました。

最後に、尼崎市での今後の活用について述べます。現在、市内に2か所あるユースセンターは立地が偏っており、すべての子ども・若者がアクセスできるわけではありません。市内の生涯学習プラザなどを活用した「出張ユースセンター」も実施されていますが、開催頻度や認知度の向上が今後の課題です。

特に、ユースセンターの存在を知っているのは「その世代の子どもを持つ保護者層」に限られており、一般市民や地域全体に向けてユースセンターの意義をより広く伝えていく工夫が求められます。

今後、下記3か所、他都市のユースセンターの取組についても学びを深めたいです。

1か所目は、認定NPO法人カタリバが行っている、杉並区立図書館をユースセンターとして活用する実証事業です。この取組では、図書館の一部を中高生の居場所として開放し、学習や交流の拠点として活用しています。公共施設を柔軟に転用し、地域資源を活かした居場所づくりです。

2か所目は、豊島区では、中高生を主な利用対象とした児童館が設置されており、若者の社会参加や自主的な活動を支援しています。このような施設は、児童館とユースセンターの中間的な役割を

担い、思春期世代が安心して過ごせる環境づくりに寄与しています。

3か所目は、文京区の青少年プラザ「b-lab(ビーラボ)」です。中高生専用の施設として、若者自身が企画や運営に関わる仕組みを備えており、音楽・創作・交流など、多様な活動を通じて自己表現や地域とのつながりを育んでいます。

今後、家庭でも学校でもない第3の居場所」を尼崎市で実現できるよう尽力してまいります。

ユースセンター はなれ

produce by Dive in!

活動報告書

vol. 1

長田のまちの、若者が集える場所
ここには多様な『出会い』がある



2021-2023

安心して自分らしく居られる空間を

若者たちは「役割」が付きまとう世界で生きています。

「いい子どもで居ないと。」「いい生徒で居ないと。」

「友達に嫌われないように。」「SNSで悪口言われないように。」

周りを気にせずただそこに居たり、安心して過ごしたりできる場所が少ないのが現状です。

若者たちが安心して過ごし、好きなことを好きと言い、やりたいことがやれる。

そんな空間を若者たちと一緒につくっています。



ビジョン vision

全ての若者が心が健康で生きられる社会

なっとくかん 納得感

自分の生き方や暮らし、選択に納得感を持っている状態。
自身の在り方を見つめ心の声に耳を傾け
自分の気持ちに嘘をつかない。

じここうていかん 自己肯定感

自身のありのままを大切にし、他者からの評価や何かができるできないなどの観点ではなく、自身の存在そのものを肯定している状態。

じここうりょかん 自己効力感

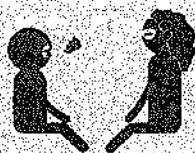
人との繋がりを感じ、誰かの役に立つ体験や、感謝される体験を持ち、自分は社会に必要であり貢献できる存在であると認知している状態。

ミッション mission

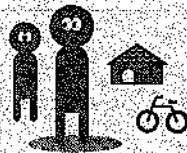
若者も主役になれる地域づくり



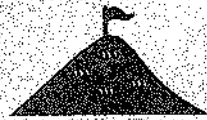
若者が存在そのものを肯定される



若者が悩みやゆらぎを相談できる



若者が多様な人やものや場所と出会える



若者がやりたいことに挑戦できる



ユースワークってなに？

ユースセンターでは、ユースワークの考え方を土台に、若者と関わっています。

では、ユースワークとはなんなのでしょう。イギリスや北欧では認知度が高いですが、日本ではまだまだ知られていません。また、日本語での明確な定義がないのが現状です。

ここでは、当団体の考えるユースワークを記載します。ユースワークという若者と関わる際に大切にしたい考え方を、みなさんにも知っていただきたいと思い筆を進めている次第です。

海外の定義を日本語訳したものも検索すれば出てくると思うので、興味がある方は是非ユースワークを探究してみてください。以下にユースワークの考え方を図式化したものを載せています。詳細は図の下に書いてあるので、見比べながら理解を深めていただければ幸いです。

若者の成長と幸福を共創する

挑戦できる環境
自己実現

出会い
つながり・感謝

経験
なんとかなる！

評価しない
あなたらしく

多様な体験

悩み相談

やりたいことの
相談

若者のニーズ

存在の肯定
関係性の構築



ユースワークは存在の肯定と関係性の構築から始まります。多様な若者と関わる中で、何かができるできないで判断せず、「ただそこにいる」ことを肯定します。赤ちゃんが泣くことしかできないのに周りが可愛がるように、ただただ存在自体が尊い存在として接します。そして、時間をかけて信頼関係を構築します。

若者が自身の思いを素直に話せるようになるためには関係性が必要です。

関係性ができると、若者が家や学校での悩みや、やりたいことを相談してくれます。その若者からでたニーズを確実に聞き取り、何かしらのサービスや取り組みに繋いでいきます。

幸福学で提唱されている幸福の4つの因子が、「自己実現・繋がり・感謝・なんとかなる・あなたらしく」です。

若者のニーズに答えていく中で、色んなチャレンジに伴走したり、大人や同級生や支援者と出会ったり、色んなことを経験したり、評価しない関わりを持ったりすることで、若者の幸福感を共に創っています。

ユースワークは若者支援の万能策ではなく、若者の幸福と成長を真剣に考え、共につくる営みです。



視察報告書

2025年10月0日

尼崎市議会議員 池田りな
池田りな

テーマ:プレコンセプションケアについて

視察先:神戸常磐女子高等学校

日時: 2025年10月10日

兵庫県のプレコンセプションケア事業の一環として講師派遣を受け、授業を実施した神戸常磐女子高等学校を視察しました。

私はこれまで、プレコンセプションケアの充実に力を入れてきました。プレコンセプションケアとは、男女を問わず、思春期から青年期の段階で「将来の妊娠・出産を見据えた健康づくり」を支援する取り組みです。

厚生労働省は、成育医療等の提供に関する基本的な方針(令和5年3月閣議決定)において、「安心・安全で健やかな妊娠・出産を支援するため、妊娠前からの支援(プレコンセプションケアを含む)を推進する」と明記している。

さらに、同省の関連資料「成育基本方針に基づくプレコンセプションケアの推進について」(令和5年3月 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課)

では、「プレコンセプションケアは、男女を問わず、性や妊娠に関する正しい知識の普及を図り、健康管理を促す取組である」と示されています。

引用元:

厚生労働省「成育医療等の提供に関する基本的な方針(令和 5 年 3 月閣議決定)」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/000788439.pdf>

厚生労働省 子ども家庭局母子保健課「成育基本方針に基づくプレコンセプションケアの推進について」(令和 5 年 3 月)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24848.html

そうした中で、兵庫県が令和 6 年度から実施する「プレコンセプションケア(Preconception Care)」は注目すべき取り組みです。

視察した授業の講師は、公益社団法人「いのちのドア」の永原助産師でした。同団体は、兵庫県神戸市北区にあり、思いがけない妊娠や育児困難に直面した女性のための 24 時間相談窓口を運営し、医療・住居・生活・就労など切れ目のない支援を行っています。また、妊産婦が安心して過ごせるマタニティホーム(居場所支援施設)を設け、支援が届きにくい女性を孤立させない体制を整えています。

授業では、体のしくみ、健康、妊娠・避妊、性感染症、妊娠体験など幅広い内容が網羅されていました。さらに、予期せぬ妊娠をした場合の選択肢として、里親制度や養子縁組制度の紹介もありました。

講師は次のような現実を紹介しました。こうした現実は、「性と命の教育」の重要性を強く訴えるものであり、プレコンセプションケアの意義を裏づけています。

「日本では、生後 0 か月 0 日で母親によって命を奪われてしまう子どもが少なくない」

「予期せぬ妊娠を苦に自ら命を絶ってしまう女性もいる」

特に印象に残った講師の言葉は、

「結婚する人もしない人も、子どもを産む人も産まない人もいる。それぞれの選択がある。」というものでした。高校生に結婚や出産も強制されるものではなく自由で選択できるものと強調されていました。

現時点で、尼崎市内には兵庫県の事業を活用したプレコンセプションケア授業を実施している学校はありません。今後、私自身が高校への直接案内などを通じて、この取り組みを広めていきたいと考えています。

プレコンセプションケアは、若者が自分の体を理解し、人生の選択を主体的に行う力を育む教育です。この取組は、尼崎市で課題となっている若年層の予定外妊娠の減少にもつながります。今回の視察で得た学びを、今後の尼崎市政に活かしてまいります。

将来のために



妊娠と出産、性知識…
今から知っておきたいこと

兵庫県では「不妊症等に関する支援推進条例」を策定し
プレコンセプションケアや
不妊症等に関する支援の充実
に取り組んでいます

食事や栄養、運動…
今から気をつけること

将来設計、家族を持つ…
今から考えておくこと



プレコンセプションケア講師を 皆さまの学校へ無料派遣します

◆ 対象 県内の高校生及び大学生、教員等*

*指導教員等に対する研修も対応可能です

◆ 内容 プレコンセプションケアの普及啓発とともに 幅広く以下の内容を織り交ぜて講義

- ① 性に関する必要な知識と命の大切さ
- ② 生涯を見据えた若者の健康づくり
- ③ 妊娠・出産の選択を含めた将来設計 等

◆ 料金 無料（プロジェクター等の備品は学校でご準備願います。）

※積雪の恐れがある場合または荒天のため警報が出ている場合は、交通事情を加味し実施できなくなる
可能性がありますので、予めご了承ください。

学校の要望に合わせて対応可
(全校生徒/学年/コース毎など)

- 基 本 型
講演50分程度 + QRアンケート
- オプション
講演 + 体験
(妊婦体験、赤ちゃん人形
抱っこ体験など)

お申込
お問い合わせは
こちらから

公益社団法人 小さないのちのドア
(性教育指導経験のある助産師等が講師をつとめます)

TEL・FAX→078-743-2405

E-mail→kataritai@door.or.jp



実施校の様子等は
こちらから
確認できます

プレコンセプションケアとは・・・？

性及び健康に関する知識を持ち、妊娠及び出産の希望を含む自らの将来を考え、健康管理を行うこと

別添

Z 世代へのプレコンセプションケア講師派遣事業

申込書

送信日 令和 年 月 日

1 学校名/団体名	
2 実施場所/住所	
3 実施場所について	☐ 体育館 ☐ 教室 ☐ その他【 ☐ 冷暖房 有・無 【
4 希望日時 (第3希望まで)	①令和 年 月 日 () : ~ : ②令和 年 月 日 () : ~ : ③令和 年 月 日 () : ~ :
5 対象	学年 () ☐ 学年単位 ☐ クラス単位 ☐ その他 ()
6 参加人数	生徒 名 教諭 名 その他 名
7 質問・要望事項	
8 連絡先	担当者名 : 職 名 : メー ル : 電話番号 :
9 事業について	Z 世代プレコンセプションケア講師派遣事業を何でお知りになりましたか ☐ 県の HP ☐ チラシ ☐ その他【

※積雪の恐れがある場合または荒天のため警報が出ている場合は、交通事情を加味し実施できなくなる可能性がありますので、ご了承ください。

【提出先】公益社団法人 小さないのちのドア

TEL・FAX⇒078-743-2405 E-mail⇒kataritai@door.or.jp

4.【特集】こどもの死亡時に実父母双方と同居している事例とそれ以外の事例の比較

虐待によりこどもが死亡したときに同居している家族構成について第5次から第18次報告までの事例では、心中以外、心中とも約半数が「実父母」と同居している。一方、「ひとり親（同居者なし）」「ひとり親（同居者あり）」「内縁関係」「再婚等」についても一定数が見られた。特集では、「実父母」と同居以外の家族構成について着目し、「実父母」と同居している家庭と比較して、その傾向を分析した。

※対象：第5次から第18次までの虐待による死亡事例、心中以外747人、心中（未遂含む）492人

(1) 結果 主な項目を掲載

●死亡時のこどもの年齢＜心中以外＞

	総計	実父母	ひとり親 (同居者なし)	ひとり親 (同居者あり)	内縁関係	再婚等
全体	747 100.0%	356 100.0%	73 100.0%	117 100.0%	66 100.0%	34 100.0%
0日	127 17.0%	13 3.7%	15 20.5%	56 47.9%	10 15.2%	0 0.0%
1～6日	29 3.9%	7 2.0%	3 4.1%	12 10.3%	1 1.5%	0 0.0%
0歳	214 28.6%	166 46.6%	14 19.2%	14 12.0%	6 9.1%	2 5.9%
1～2歳	130 17.4%	72 20.2%	13 17.8%	12 10.3%	20 30.3%	7 20.6%
3～5歳	120 16.1%	54 15.2%	14 19.2%	6 5.1%	20 30.3%	16 47.1%
6歳以上	74 9.9%	32 9.0%	9 12.3%	9 7.7%	7 10.6%	8 23.5%

●家族構成の状況

「ひとり親（同居者なし）」、「ひとり親（同居者あり）」の婚姻状況

	心中以外		心中	
	ひとり親 (同居者なし)	ひとり親 (同居者あり)	ひとり親 (同居者なし)	ひとり親 (同居者あり)
全体	73 100.0%	117 100.0%	70 100.0%	44 100.0%
ひとり親 (離婚)	25 34.2%	33 28.2%	53 75.7%	24 54.5%
ひとり親 (未婚)	32 43.8%	80 68.4%	4 5.7%	10 22.7%
ひとり親 (死別)	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 2.3%
ひとり親 (別居)	16 21.9%	4 3.4%	12 17.1%	9 20.5%

＜分類について＞

カテゴリ	分類
実父母	実父母双方と同居
ひとり親（同居者なし）	ひとり親であり、祖父母やその他の同居者がいない
ひとり親（同居者あり）	ひとり親であり、祖父母やその他の同居者がいる ※ただし内縁関係の者は含まない
内縁関係	ひとり親であり、内縁関係（交際相手を含む）の同居者がいる
再婚等	実父母のいずれかとその再婚者の同居者がいる、養父母
その他	その他

●家族構成の状況

	総計	実父母	ひとり親 (同居者なし)	ひとり親 (同居者あり)	内縁関係	再婚等
心中以外	747 100.0%	356 47.7%	73 9.8%	117 15.7%	66 8.8%	34 4.6%
心中	492 100.0%	251 51.0%	70 14.2%	44 8.9%	13 2.6%	11 2.2%

●地域社会との接触＜心中以外＞

	総計	実父母	ひとり親 (同居者なし)	ひとり親 (同居者あり)	内縁関係	再婚等
全体	747 100.0%	356 100.0%	73 100.0%	117 100.0%	66 100.0%	34 100.0%
ほとんど 無い	170 22.8%	78 21.9%	25 34.2%	23 19.7%	26 39.4%	11 32.4%
乏しい	115 15.4%	59 16.6%	23 31.5%	10 8.5%	13 19.7%	6 17.6%
ふつう	148 19.8%	94 26.4%	6 8.2%	26 22.2%	4 6.1%	8 23.5%
活発	14 1.9%	8 2.2%	2 2.7%	4 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
不明	287 38.4%	117 32.9%	17 23.3%	54 46.2%	23 34.8%	9 26.5%
無回答	13 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※各カテゴリにおいて、「その他」を選択した事例については表から除いて掲載している
※各項目において、「特になし」「不明」「無回答」を最も多い項目にハイライトを入れている